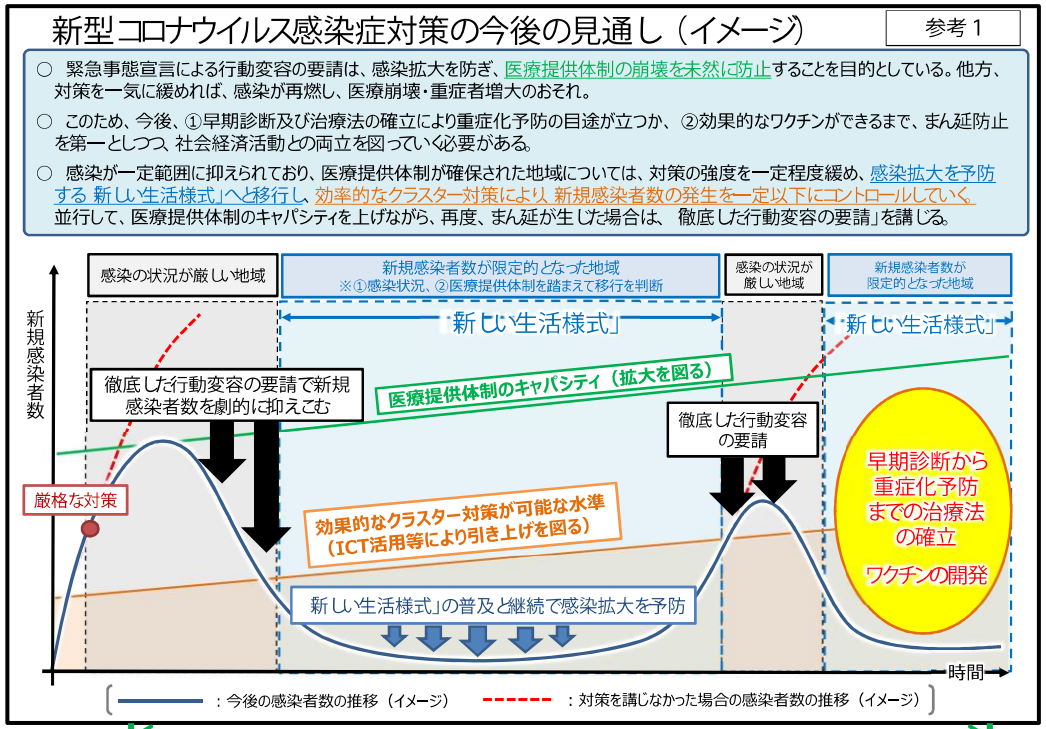
新型コロナウイルスの感染拡大防止のための「シン・テレワークシステム」実証実験の当面の継続に関する考え方について (2020/5/29)

2020 年 5 月 29 日
IPA 産業サイバーセキュリティセンター
サイバー技術研究室
・
NTT東日本 特殊局 (仮設)

シン・テレワークシステム開発チーム

- 「シン・テレワークシステム」実験を 2020 年 4 月 21 日に開始した際は、新型コロナウイルスに係る見込みや、感染拡大のための本システムに対するニーズが未知であったことから、当初、実験期間は、約半年間の 2020 年 10 月 31 日までと仮設定しました。
- その後、2020 年 5 月 1 日に、国の「新型コロナウイルス感染症専門家会議」が「新しい生活様式」の提言を発表 (下図) し、治療法確立・ワクチン開発等による終息までの間は、当面の感染拡大防止と新規感染者数増加に対する備えが求められることになりました。
- 本システムは新型コロナウイルス感染防止対策のため有効と考えられ、2020 年 10 月 31 日以降の継続を望む声が多数であること、技術上の工夫により極めて低いコストでの構築・運用継続が可能となったこと (※1) 、様々なご要望をいただいて機能を改良し続けていること等から、現在関係組織等と調整中ですが、**2020 年 11 月 1 日以降も、少なくとも、国によって「徹底した行動変容」または「新しい生活様式」が求められている期間中は、実験継続したいと考えています。** (※2)



少なくとも、「徹底した行動変容」または「新しい生活様式」が求められている期間は、「シン・テレワークシステム」の実験は継続したいと考えています。

※1. https://telework.cyber.ipa.go.jp/news/20200514/

※2. 11 月 1 日以降継続をする場合であっても、設備・人員・体制等のリソース上、提供が継続困難となった場合は、「徹底した行動変容」または「新しい生活様式」が求められている期間中であっても終了させていただく場合があります。

図「参考 1」: 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」(2020 年 5 月 1 日) より
https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000627254.pdf